

初心者から、すでに耐候性試験を実施している方まで！

令和元年度モノづくり技術力向上のための「技術研修事業」

参加費
無料

樹脂や塗装、各種材料の 耐候性・劣化とその評価方法

プラスチック製品などは、太陽光や降雨にさらされることで、材料強度や見た目の変化が起こります。耐候性試験は、このような現象を装置内のコントロールされた条件により劣化促進試験を行うことで、製品の長寿命化や信頼性・安全性の向上に活用される重要な試験方法です。

今回の「技術研修」では、耐候性試験で利用される各種光源（キセノン、メタルハライド、カーボンアークなど）の特徴および、JISやISOなどの試験規格についてご紹介するとともに、試験条件の設定やサンプルリング条件など試験の計画やコツについても学んでいただけます。試験後に必要な評価方法についても、色差測定、ヘーズ（くもり度）測定、強度試験などについて概要をご紹介します。

実習では、当センターに導入されたキセノンウェザーメータ（大型高促進型）を用いた実演をします。温度制御のもと太陽光の5倍の紫外線照度で劣化促進試験が初めて可能となりました。関心のある方は、ぜひご参加ください。

開催日時等

日時：令和元年10月24日（木）
13時30分から16時30分まで

場所：滋賀県工業技術総合センター
2階 大研修室

参加費：無料

講師

スガ試験機株式会社

小池 政利氏



講習会内容

第1部 技術講習会（13:30-15:15 定員：20名） 「樹脂や塗装、各種材料の耐候性・劣化試験」

耐候性試験の各種光源による違いや特徴、JISやISOなど規格試験、業界での取組み状況、環境曝露との比較、試験後の評価方法をご紹介します。

第2部 実習（15:30-16:30 定員：5名） 「キセノンウェザーメータでの耐候性試験の実際」

新たに導入した装置を用い、耐候性試験の実際、標準サイズ試料以外の試料設置の工夫やサンプルリングなど試験のコツについて学んでいただけます。



キセノンウェザーメータ（大型高促進型）

本装置は、「生産性革命に資する地方創生拠点整備交付金」（平成29年度内閣府補正予算）により導入しました。

お申し込み：<https://www.shiga-irc.go.jp/info/news>

お問い合わせ先：滋賀県工業技術総合センター 白井、大山
（滋賀県栗東市上砥山232 TEL：077-558-1500）